

2月 5日 (土) 西原東小 プロフェッショナル集結!

西原東小学校で「西原町教育の日」にキャリア教育の一環として、令和3年度「きらり・スクール」が開催されました。地域の様々な職業に携わる方を招いて、児童生徒に「かかわる力・ふりかえる力・やりぬく力・みとおす力」を身に付けることを目的に行われ、各クラスへ総勢17名の講師が西原東小に集結しました。

低学年ではピエロ(道化師)やパティシエなどの講師が子どもたちの目の前で実演をし、初めて間近でみる職人の技術に児童は釘づけになっていました。高学年では臨床工学技士の講話の際に、実際に器具を手に取りプロの技術を学ぶ姿がみられました。



3年生へ講話を行ったダンス講師上原恒彦さんは児童に負けない大きな声のあいさつでスタートし、「何か?(興味を持つ)→真似する→練習する(繰り返し・考える)→できるようになる。できなかつたら調べて、1つずつ近づけていくこと。できるようにするやり方を探すのが大事です。「失敗したらこうなる」と学べばそれは失敗ではない。なりたい、やりたい気持ちが大切」と熱い想いをユーモア交えて話し盛り上がりを見せました。講話を聞いた小橋川麗奈さんは「礼儀やあいさつが重要になるとわかった」と感想を述べました。

6年生へ講話を行ったピアノ調律師仲村和也さんは約4年間さまざまな仕事をし、必死にお金を貯めイタリアへ修行



に行った経験をふまえ、「仕事は手段です。コツコツ努力をして自分を信じることで自信につながります。ブルーローズ(青いバラ)は“不可能”という花言葉でした。しかし日本の科学者が何度も試行錯誤を行い開発したことで「夢かなう・奇跡」という意味に変わりました。働くことは楽しい、大人は楽しいですよ」とメッセージを送りました。講話を聞いた東江磨生さんは「夢は絶対叶うということ胸に持ち、これからも頑張っていきます」と講師からの教えを振り返り、決意新たに感想を述べました。

2月 9日 (水) 西原高校3年生 選挙出前授業



西原高校にて沖縄県選挙管理委員会による選挙の出前授業が開催されました。選挙の仕組みやその大切さ、選挙種類ごとの投票率についてなど基本的な内容を、具体的な資料に基づいて授業が行われました。また、授業の最後には実際に模擬投票を行うなど、選挙がより身近に感じられるように工夫された授業となっていました。

知念姫菜乃さんは「4月からは新成人として、社会の一員になるため、自覚を持って価値のある一票を投票していきたい。」と感想を述べました。

わった! 12月 18日 (土) 「コロナだからできたこと」にしらぼの挑戦! Topics in the Town



イベント フォトギャラリー



コロナ禍で職場体験の中止による代替として西原中学校2学年では約1年をかけて模擬起業体験学習が行われました。生徒たちが設立した「にしらぼ」は、「西原町を元気にする会社」を企業理念にSDGsを意識した取り組みを目指しており、この新しい試みに注目が集まりました。

活動計画はまず企画書を作成し、株主である保護者へプレゼンテーションを行い、資金を調達。そして、その資金で製作した商品を販売して売上を得るというもので、令和3年12月18日(土)には17営業部・CM班による「にしらぼリアル販売会」が開催されました。

オープニングでは社長の宮良風花さんが「中学生で会社を設立するという前代未聞のことなので最初は生徒はもちろん、先生方も何をするか全く分からない状況でした。時間に追われながら、困難を乗り越え、それぞれに与えられた役目を全うし、商品を完成させ今日を迎えることができました」と気合の入った挨拶をし、幕を開けました。

会場にはSDGsと絡めた商品づくりに苦戦しながらも、一生懸命製作した各営業部の個性豊かな商品が並びました。中には完売する商品もでるほど大盛況で、約160名

の来場者で盛り上がりを見せました。

実際に販売をした伊波昊毅さんは「思った以上にお客様が来てくれて沢山準備してきた分やりがいを感じられて嬉しい」と手ごたえを語ってくれました。

今回の企画を通して「親も刺激をもらった」「定期的に開催してほしい」と話す保護者や先生方からは「普段やんちゃな子がしっかりとお客様へ対応する姿がみられて嬉しい」などといった声があがり、会場内は笑顔があふれ、まさに、「にしらぼ」の企業理念を達成する様子うかがえました。

令和4年2月には株主総会・決算報告を行い、純利益の4万7362円はコロナ禍で困っている人に役立ててほしいと、西原町社会福祉協議会へ寄付されました。

モノをつくることよりも仕事の仕組みを学んでほしいと語っていた、担当久場小百合先生は「通常の職場体験ではどうしても生徒が受け身になりやすかった。今回の企画ではすべて生徒が主体となって活動したため、生徒の成長を物凄く感じました。それと同時に保護者の理解と協力がとてもありがたく、ここまでできました。「にしらぼ」はこれからの職場体験の新しい形になり、生徒たちが率先して西原町を輝かせる人になると感じます。西原町の未来は明るいですね」と語ってくれました。西原中では次年度も引き続き「にしらぼ」を行う予定です。



我謝地内不発弾処理作業を実施

1月30日(日)、我謝地内において、不発弾(250kg爆弾)処理作業が行われ約2,000人の住民が避難対象となり、近年では例のない大規模な形で実施されました。当日は無事に滞りなく作業を終了することができ、近隣住民をはじめ町民の皆様には、避難や交通規制にご協力を頂き感謝申し上げます。

戦後75年余りが過ぎた現在でも、数多くの不発弾が町内で発見されており、令和3年度も現時点で18発の不発弾が発見され、その内4発が現地処理される等、本町が激戦地であったことが窺えます。今後も町内で不発弾が発見された際には、関係機関と連携して安全対策を徹底してまいりますので、町民の皆様のご協力をお願いします。



保健カレンダー

事業名	月日	曜日	対象者	受付時間	場所
離乳食(オンライン)	3月2日	水	R3.9.1~R3.10.31	13:30~	オンライン
2歳児歯科健診	3月3日	木	R1.9.5~R1.11.28	13:00~15:00	西原町保健センター
3歳児健診	3月10日	木	H30.10.1~H30.11.10	13:00~15:00	
タッチケア(オンライン)	3月11日	金	R3.9.1~R3.10.31	13:30~	オンライン
乳児一般健診(午前)	3月13日	日	R3.5.1~R3.6.13	9:00~10:15	西原町保健センター
乳児一般健診(午後)	3月13日	日	R3.9.26~R3.11.12	13:00~14:15	
1歳半健診	3月17日	木	R2.7.16~R2.8.20	13:00~15:00	オンライン
産後ピラティス(オンライン)	3月22日	火	R3.9.1~R3.10.31	13:30~	

★対象者数によっては人数の調整のため対象となる生年月日が変更となる場合があります。健診の通知が届いているか確認をお願いします。

★新型コロナウイルス感染症対策のうえ実施しています。最新情報は西原町HP等でご確認ください。



乳児健診



1歳半・3歳児健診



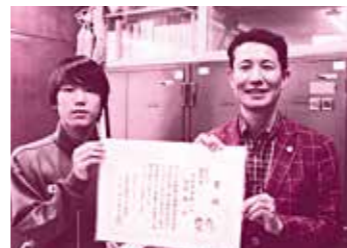
2歳児歯科

【お問い合わせ】健康支援課 保健予防係(母子班) ☎098-945-4791

2月 3日 (木) 西原中学校 人権啓発活動表彰

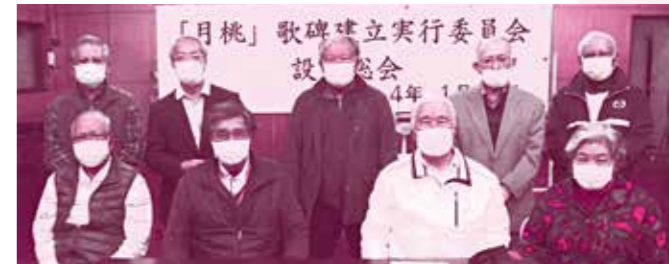


学校全体の積極的な人権啓発活動が認められ、西原中学校に法務省人権擁護局および全国人権擁護委員連合会から感謝状が贈られました。「社会科の先生方や生徒たちの積極的な取り組みを評価していただき嬉しく思う」と友寄ゆかり校長は喜びを語りました。



また、那覇人権擁護委員協議会主催のもと開催された、第二回中学生人権標語コンテストで、同校2年生の狩俣 葵さんが優秀賞を受賞しました。狩俣さんは「今回初めて賞を受賞することができて嬉しいです。次回は最優秀賞を目指します。」と意欲を燃やしていました。

1月 7日 (金) 「月桃」歌碑の建立に向けて、実行委員会 立ち上がる



平和を願う歌として広く歌われている「月桃」(作詞・作曲 海勢頭豊)の歌碑建立を目指して、坂田自治会の有志を中心とした実行委員会が1月7日に結成されました。同委員会は、前沖縄県議会議長の新里米吉さんが委員長を務め、崎原盛秀町長などが賛同者として名を連ねています。

実行委員会では、平和の大切さや願いを後世に語り継ぐ強い意志を刻むため歌碑建立を目指したいとしており、建立の場所は今後の協議で決定されます。また、寄附やクラウドファンディングを募って設置費用を集める協力を呼びかけることとしています。

歌碑建立にご賛同いただける方からの寄附を募集しています。本寄附の詳細については下記にお問い合わせいただくか、西原町ホームページをご参照ください。



本取り組みに関するお問い合わせ 「月桃」歌碑建立実行委員会事務局(坂田自治会) ☎946-5332

※広報紙に掲載する写真については、撮影時のみマスクを外しております。